

なごみの社ONEでは、よりよいサポートを提供しお子さんの生き生きとした育ちに貢献するため、発達支援の内容・体制などについて自己評価および保護者アンケートを実施しています。
 今後も利用の皆さんのご意見やニーズを踏まえて、より良いサポートを提供していきます。
 なお、評価基準は厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」を基に作成しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	4		・同じ部屋で活動することが多く、他の部屋がどうなっているかわからない
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	7		・バリアフリーの観点では見ていなかった
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	27			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	28	1		・毎回楽しく参加しているので感謝しています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	6	10	
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	28	2		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	3		・何もなくても面談で話をする時間を取ってもらえると嬉しい
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	8		・子どもの年齢が上がりがり一人で来所するようになったので、保護者同士の関わりが少なくなった
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	3		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	3		・相談や伝えたいことがある時に、特別な時間を取らなくても活動中などに話す時間が作れると嬉しい
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	3		・フェイスブックで活動の様子・報告などをみさせてもらっています。
14 個人情報に十分注意しているか	27	1			
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	12	6	・よくわからない
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	15	5	・避難訓練に参加できていないため、よくわからない
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	22	1		
	18 事業所の支援に満足しているか	22	1		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

【アンケート実施方法】

実施期間：2018年6月

配布対象：75世帯(回収率40%)

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	利用時間やプログラムを工夫し、プレイルームや担当セラピストの調整を行なっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	現状対象児は居ないが、事務所が二階にあり階段をのぼる必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		主催研修会やスタッフ別の研修費の確保などを通して、研修機会を確保している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		対象のお子さんに対して、休暇中はキャンプや特別プログラムなどを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		記録の書き方、整備の仕方を会議で共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	5			
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2 近隣の公園等での、交流して遊ぶ機会がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	地域の自立支援協議会に参画している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	
	35	個人情報に十分注意しているか	5		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	年に一回の講演会実施や、啓発イベントなどを通して地域との交流を図っている。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	保護者からの情報提供を元に、対応を行なっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		

【アンケート実施方法】

実施期間：2018年6月

配布対象：5人(回収率100%)

【総評】

集計の結果、非常時のマニュアルや具体的な対応について今よりもさらに利用者・保護者の皆様へ周知する必要性が伺えました。

個別の活動が多く、集団での避難訓練実施などが難しい当事業所の実態を踏まえ、非常時の対応周知の方法を検討し、実施したいと思えます。また、学齢期や青年期など多様なライフステージに対応した保護者の皆様へのサポートをより拡充していく必要性が見えてきました。

事業所内評価については、現状対象となる児童はいないもののバリアフリーに関する項目で工夫が必要な場合があることがわかりました。さらに、外部の方々への事業所内の活動紹介などを含めたより開かれた事業運営を目指していきたいと思えます。

今回のアンケートでいただいたご意見を元に、子ども達が楽しい中で生き生きと発達を積み重ね、保護者の皆様も生き生きと子育てに取り組むことができるよう事業運営の工夫を検討し、より良い発達のサポートを積み重ねていきます。